



半田ヒデさん100歳長寿おめでとう

半田ヒデさん(木造平滝)が6月25日、満100歳の誕生日を迎え、長寿を祝いました。ヒデさんは、明治45年生まれ。夫の勝城さんとともに農業を営み、3男5女の子ども、孫18人、ひ孫26人、やしやご4人に恵まれました。

食欲旺盛でハンバーグが好物というヒデさんは、テレビでのスポーツ観戦が日課。野球、相撲、サッカーなどひいきのチームを熱心に応援しているそうです。

この日は、長男の藤利さんの自宅で家族とともに誕生日を祝い、松橋福祉部長が「お誕生日おめでとうございます」と顕彰状と花束を手渡すと「ありがとうございます」と笑顔を見せていました。



家族に囲まれ祝福される半田ヒデさん(左から3人目)



福島市長と一緒にツツジの苗木を植える園児たち

亀ヶ岡公園にツツジ120本植樹

つがる市観光協会(伊藤良二会長)による植樹祭が7月11日、亀ヶ岡公園で行われ、同協会員や館岡保育園児ら約50人がツツジの苗木約120本を植えました。

植樹祭は観光地美化事業の一環として行われているもので、伊藤会長が「桜の後にツツジを楽しめる公園として育てていきたい。今年は白い花の咲くヤマツツジを準備しました」とあいさつ。福島市長は「魅力ある公園を皆さんと一緒につくっていきたい。園児の皆さんは、自分の植えたツツジの毎年成長した姿を見に来てください」と述べると、園児たちは「きれいな花を咲かせてね」と声を掛けながら苗木に土を掛け、丁寧に植えていきました。

アイガモさん除草よろしく

瑞穂小学校(一戸瑞校長)5年生54人は、ごしょつがる農協「おいしいごはんを作る会」(浜山敏彦会長)の指導を受けながら、アイガモ農法での米作りを勉強しています。

6月1日、学校田(2.5畝)でつがるロマンの田植えを行い、18日には、除草や除虫の働きをするアイガモ5羽を放ちました。この日は、同会の高橋金義さんが「アイガモは人を怖がるので、餌をあげる時は驚かさないよう優しく接して」と説明し、代表の児童5人がアイガモを田んぼへ次々と放し、全員で観察しました。児童らは今後、アイガモの世話や稲の成長を観察し、秋には稲刈りと脱穀作業の体験も行う予定です。



学校田にアイガモ放し観察する児童ら



手振り鉦のたたき方を学ぶ米軍人ら

ネブタ祭りで日米交流

米陸軍車力通信所の米軍人らがつがる市ネブタ祭りの練習に参加し、市民との交流を深めました。これは日本の伝統文化の理解と日米交流を深めようと東北防衛局が企画したもので、7月19日、ストックトン大尉ら4人が千代町町内会のネブタ小屋を訪れ、囃子の練習に参加。ネブタ実行委員のメンバーの指導を受けながら太鼓と手振り鉦に挑戦しました。体験を終えたストックトン大尉は「太鼓の迫力には驚いた。皆さん親切に指導してくれてありがたい」と述べ、同町内会の澁谷光弘会長は「我々も日本文化を伝えながら交流を深められた。お互いにいい機会になったのでは」と話していました。米軍人らは、20日も囃子の練習に参加し、27日の合同運行に参加しました。



平和の誓いを未来へ

「つがる市戦没者追悼・平和祈念式」が7月17日、松の館で開催され、戦没者1,325人の冥福を祈りました。

式典には約200人が参列し、戦没者の御霊に黙とうをささげた後、福島市長が「遺族の長きにわたるご労苦に敬意を表し、戦争のない明るい世界を実現するため、平和への願いを発信し続けます」とあいさつ。市遺族会の工藤光則会長が「恒久平和の大切さを戦争を知らない次の世代へしっかり引き継いでまいります」と追悼の言葉を述べました。

参列者は標柱が飾られた祭壇に白菊を献花し、また「蕾の会」による追悼合唱も行われ、戦没者に思いをはせていました。



祭壇に白菊を献花する参列者



指揮者体験をする6年生の黒滝陸君

迫力ある生演奏に感動

7月9日、航空自衛隊北部航空音楽隊による音楽鑑賞会が稲垣小学校で開催され、全校児童や父母ら約200人が迫力ある演奏を楽しみました。

この日は歌謡曲やアニメソングなど馴染みのある楽曲が披露され、児童らを魅了しました。また、指揮者体験も行われ、黒滝陸君、神健太郎君、長内宏貴君が緊張した面持ちで音楽隊を指揮しました。最後に音楽隊の演奏に合わせて校歌を元気に歌い、常川樹さん（6年）が「音の大きさやテンポがどんどん変わり、曲の最後がびたっと終わるところがすごいです。感動しました」とお礼の言葉を述べました。

出来島海水浴場、マグアビーチで海開き

7月13日、出来島海水浴場とマグアビーチで海開きを前に安全祈願祭が行われ、福島市長はじめ関係者が参列し、遊泳期間中の安全と無事故を祈願しました。

翌14日には両海水浴場が海開き。出来島海岸では地元住民らが砂浜の清掃を行った後、市消防署員が救急法の講習会を開き、監視員らに人工呼吸の方法や自動体外式除細動器（AED）の使い方を指導しました。マグアビーチでは米陸軍車力通信所関係者らが地元子ども会らとともに海岸清掃に参加し、環境美化に貢献しました。マグアビーチでは子どもが安全に海水浴を楽しめるようウエットスーツとライフジャケットを無料で貸し出ししています。



出来島海水浴場で救急法を学ぶ参加者



破碎機から出てきた草の感触を確かめる児童ら

身近な廃棄物でエコ教育を学ぶ

廃棄物の有効利用とリサイクル意識を高めてもらおうと青森県産業廃棄物協会（増田教正会長）が6月11日、牛瀧小学校（木村洋志校長）の児童3年生から6年生32人を対象に環境教育支援事業を開催しました。始めに地球温暖化に関するクイズに答えながら環境保全への関心を高めました。その後、グラウンドで移動式の廃木材破碎機の実演が行われ、刈り取った校庭の草や樹木剪定後の枝を破碎機に入れて破碎し、児童らはリサイクルされた再生品に触り感触を確かめていました。

破碎された再生品はグラウンド周辺に敷いてクッション材として再利用されています。